

2025年度第2四半期(中間期) 決算説明資料



今日を支え 明日を創る

株式会社 四電五

(東証プライム市場:1939)

2025年11月

- I 2025年度第2四半期(中間期)実績
- II 2025年度業績予想
- III 株主還元
- IV トピックス

I 2025年度第2四半期(中間期)実績

II 2025年度業績予想

III 株主還元

IV トピックス

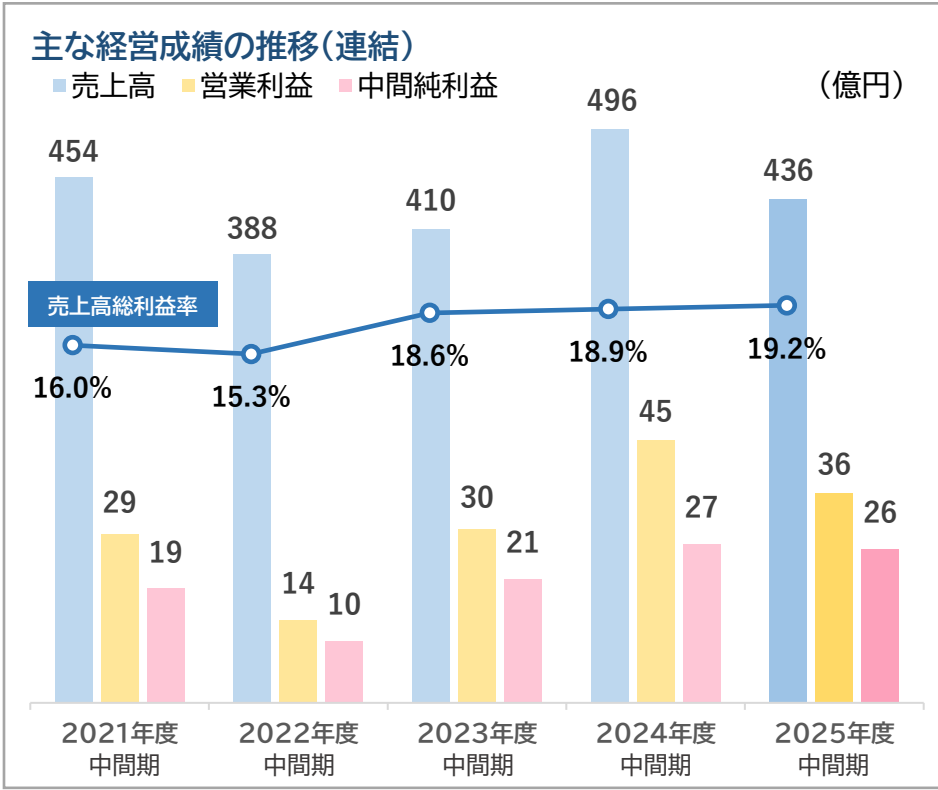
事業環境

- 設備投資に持ち直しの動きが続くなど受注環境は概ね良好
- 資機材価格の上昇や人手不足など、受注判断や工事原価、工事進捗への影響に適切に対処する必要があった

当社グループの業績

- 受注高は過去最高
- 売上高・利益は3年ぶりに減収・減益となったものの、中間期としては高水準を維持
➤ 工事進捗や工事原価の徹底管理が寄与

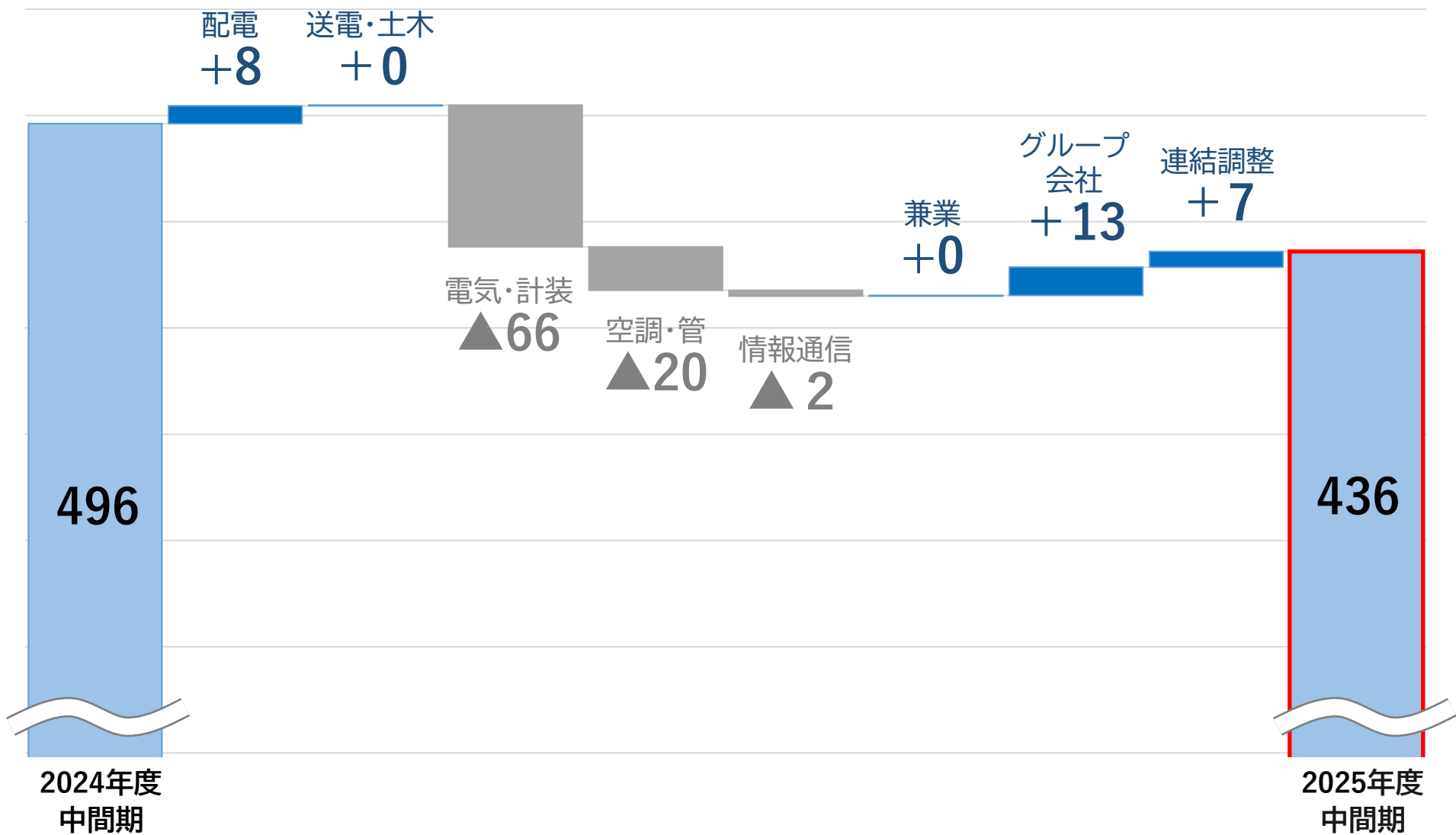
	2024年度 中間期	2025年度 中間期	前年 同期比
受注高	521	557	+ 36
売上高	496	436	▲ 60
営業利益	45	36	▲ 9
経常利益	47	39	▲ 8
親会社株主に帰属する 中間純利益	27	26	▲ 0



売上高増減要因(連結)

I 2025年度第2四半期(中間期)実績

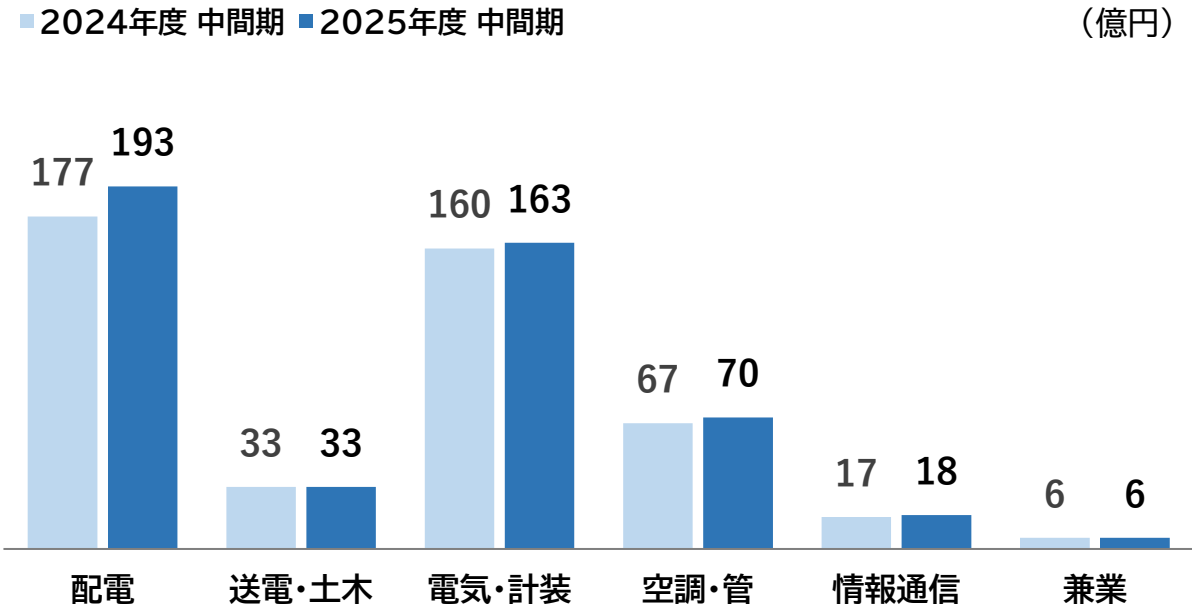
(億円)



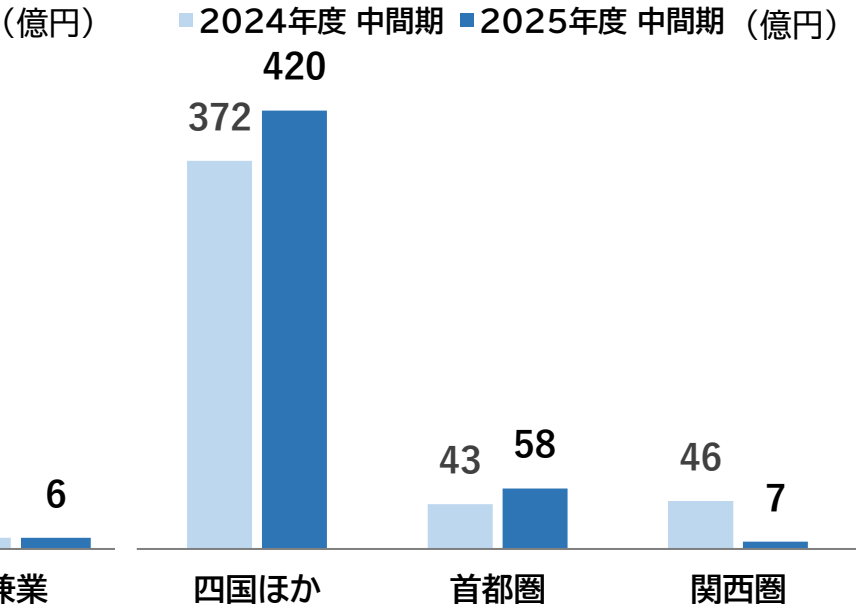
受注高は、486億円であり、前年同期比+24億円。
➤再開発案件や宿泊施設、教育施設の新築・整備工事などの大型工事受注が受注高を押し上げ、過去最高

(億円)	2024年度 中間期	2025年度 中間期	前年同期比
受注高	462	486	+24

工事種類別受注高



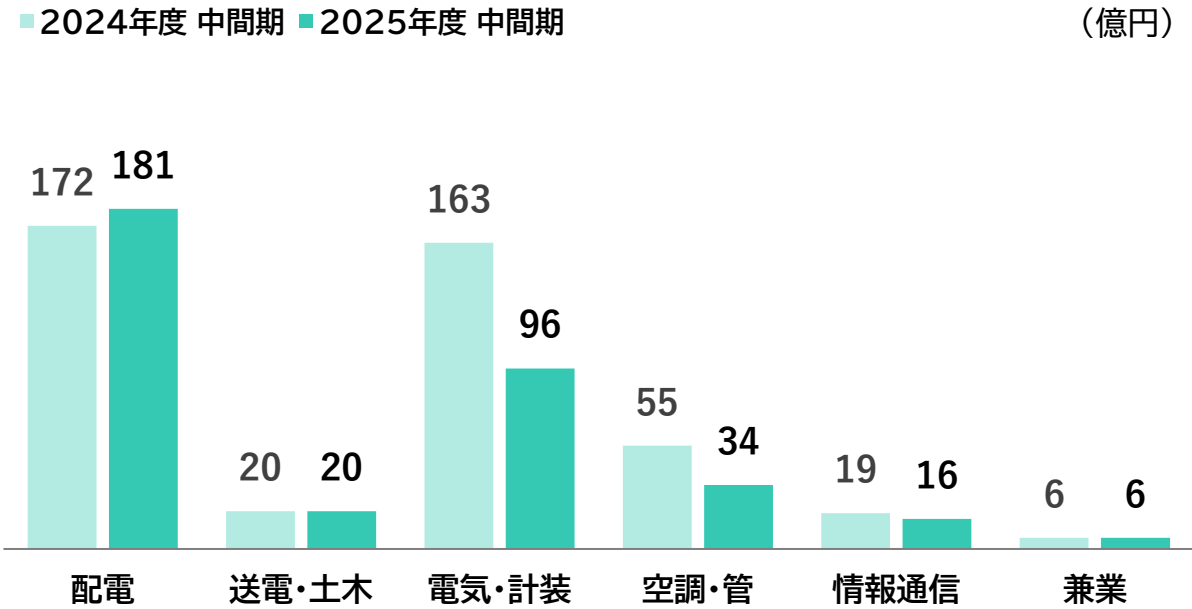
地域別受注高



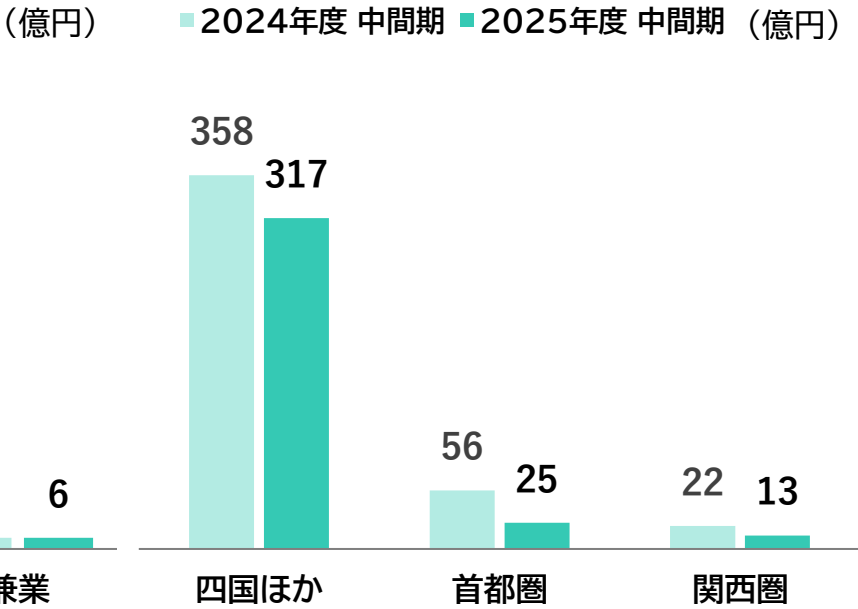
売上高は、356億円であり、前年同期比▲80億円。
➤前年同期の大型工事の反動減などにより減収となったものの、四国内では公共工事や工場新築工事、四国外では再開発案件などの進捗が寄与し、過去3番目の売上高を確保

(億円)	2024年度 中間期	2025年度 中間期	前年同期比
売上高	437	356	▲80

工事種類別売上高



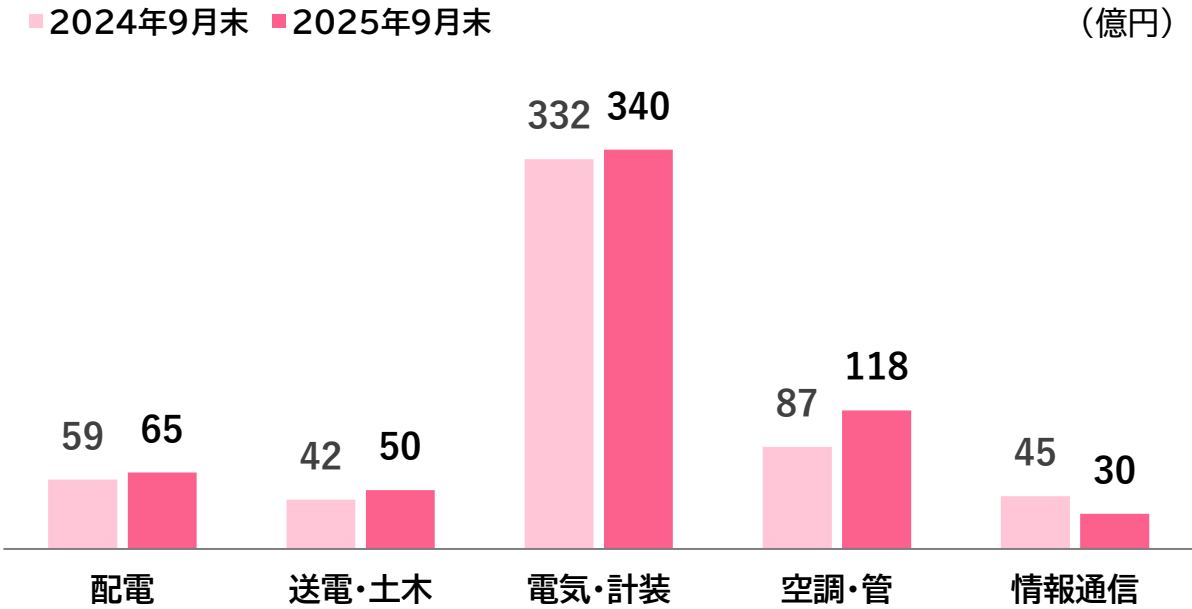
地域別売上高



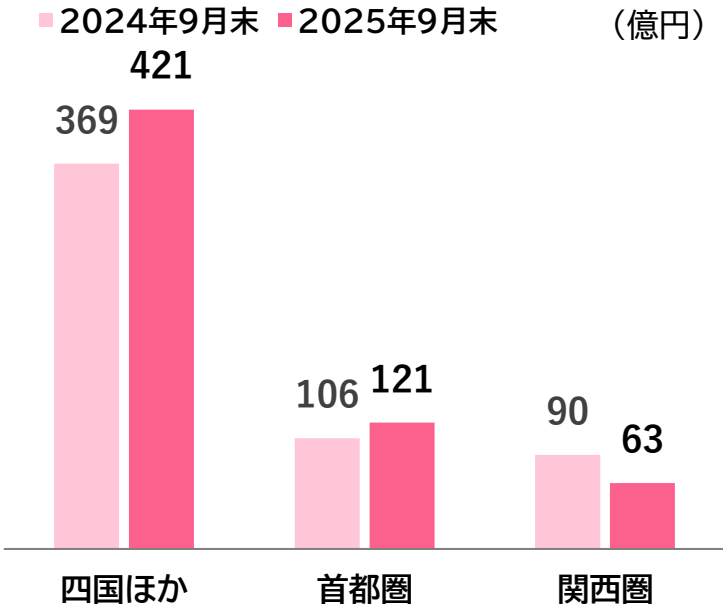
繰越工事高は、606億円であり、前年同期比+40億円。
➤過去最高の受注高が寄与

(億円)	2024年 9月末	2025年 9月末	前年同期比
繰越工事高	566	606	+40

工事種類別繰越工事高



地域別繰越工事高



(億円)		2025年3月末	2025年9月末	増減	主な増減要因
	流動資産	552	471	▲80	受取手形・完成工事未収入金等 ▲66 関係会社預け金 ▲35
	固定資産	443	454	+10	
資産合計		996	925	▲70	
	流動負債	261	176	▲85	支払手形・工事未払金等 ▲59 未払法人税等 ▲7
	固定負債	85	81	▲3	
負債合計		347	258	▲88	
純資産合計※		648	667	+18	中間純利益 +26 配当 ▲16
負債純資産合計		996	925	▲70	
自己資本比率		65.1%	72.0%	+6.9	

※ 純資産は、「非支配株主持分」を含む。



オフィスビル

第一生命京橋キノテラス

東京都

電気・計装



ホテル

パティリーナ大阪

大阪府

電気・計装



マンション

ワンループレジデンス中野南台

東京都

空調・管



病院

こころの医療センター五色台

香川県

電気・計装

空調・管



工場

ミロク日章工場

高知県

空調・管



再生エネルギー発電所

坂出バイオマス発電所

香川県

電気・計装

空調・管



ごみ処理施設

吉野川市環境センター
徳島県

電気・計装



交通情報システム

関西東部地区フリーフロー用無線設備
滋賀県、京都府、大阪府

情報通信



交通情報システム

松山自動車道 CCTV設備
愛媛県

情報通信



給食センター

西条市立東部学校給食センター
愛媛県

電気・計装

空調・管



送電設備

立田線一部増強(鉄塔建替)(JV)
高知県

送電・土木



送電設備

蔵本藍場線他ケーブル(地中送電線張替)
徳島県

送電・土木

I 2025年度第2四半期(中間期)実績

II 2025年度業績予想

III 株主還元

IV トピックス

- 通期の業績予想は、2025年4月30日の公表値から変更なし
- 前年度の大型工事の進捗による反動減などから連結・単体ともに、業績予想は減収・減益
- 繰越工事の残高は高水準を維持しており、今後それらが業績に反映される見込み

	連結				単体			
	2024年度 実績 (億円)	2025年度 予想	増減額	前年度比	2024年度 実績	2025年度 予想	増減額	前年度比
売上高	1,058	1,000	▲58	94.4%	941	840	▲101	89.3%
営業利益	80	70	▲10	86.7%	67	50	▲17	73.7%
経常利益	85	75	▲10	87.9%	72	57	▲15	78.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	51	50	▲1	96.6%	47	40	▲7	84.0%
1株当たり 当期純利益※	109.46円	105.70円	▲3.76円	—	100.74円	84.56円	▲16.18円	—

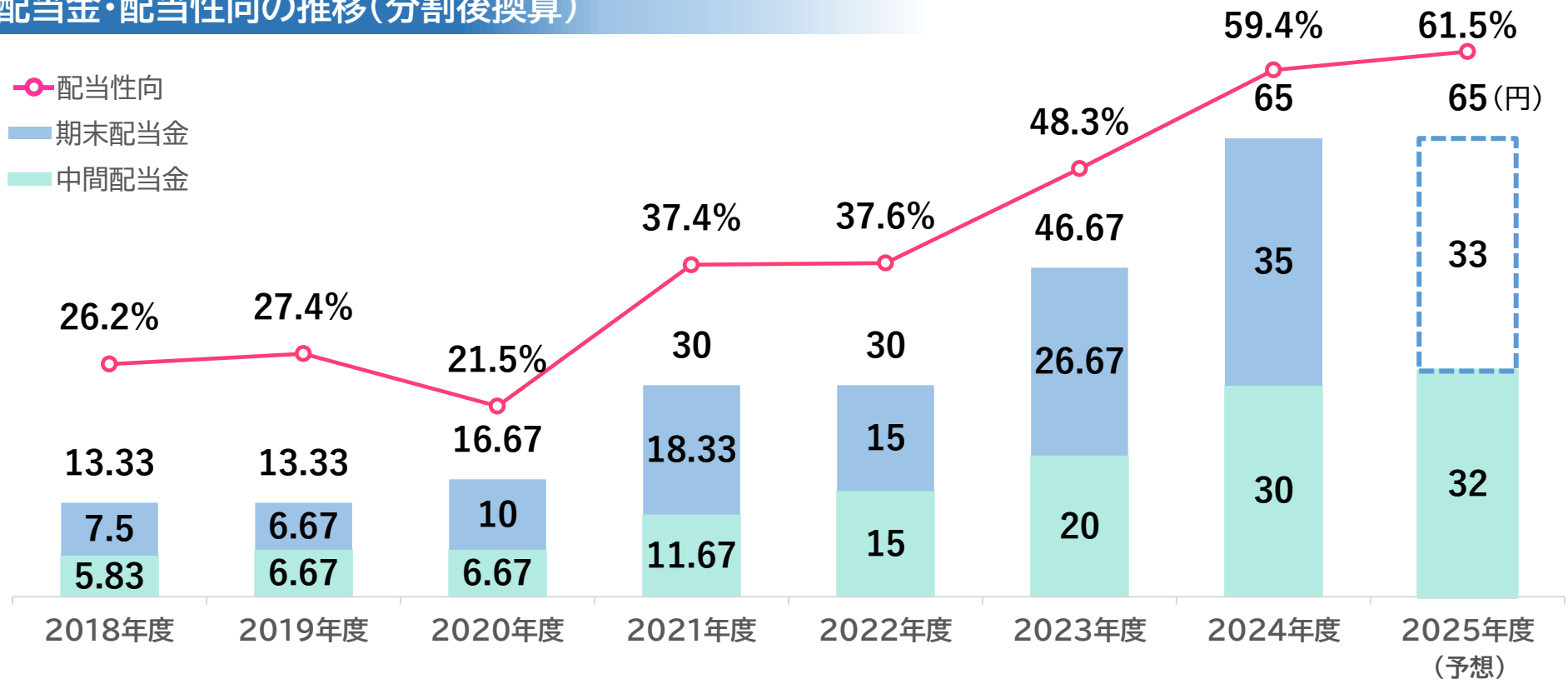
※ 2024年10月1日付で、普通株式1株を3株とする株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は、2024年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

- I 2025年度第2四半期(中間期)実績
- II 2025年度業績予想
- III 株主還元**
- IV トピックス

株主還元方針(『中期経営指針2025』より)

- 事業活動を通じて得られた利益について、株主の皆さまへは、「連結配当性向40%以上」を目安に、持続的かつ業績に即した還元を行ってまいります。
- 仮に今後の景気動向等によって一時的に減益となった場合でも、極力、配当水準の維持に努めてまいります。

配当金・配当性向の推移(分割後換算)



(注) 2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施し、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を実施しているため、1株当たり配当金は現在の株式数に換算した金額を記載しております。

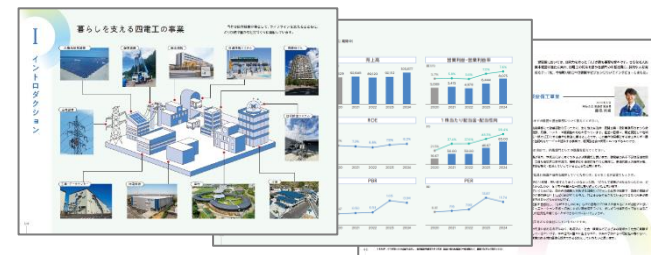
- I 2025年度第2四半期(中間期)実績
- II 2025年度業績予想
- III 株主還元
- IV トピックス**

「株式会社四電工 統合報告書2025」を発行

当社グループの企業価値向上への取り組みを財務・非財務の両面から整理・集約した統合報告書を発行いたしました。新たに中堅社員インタビューなどを掲載するとともに、グラフや図を用いた分かりやすい紙面づくりを工夫しました。当社Webサイトからご覧いただけます。

当社Webサイトからご覧いただけます。

<https://www.yondenko.co.jp/ir/integrated-report.php>



人的資本経営



部下との関わり方研修の実施

上司と部下のコミュニケーションの質と量を高め、職場の心理的安全性の向上を図ることを目的に、主に現場管理者を対象としたワーク型研修「部下との関わり方改革研修」を2024年度から実施しています。

本研修は、社外講師の指導のもと、部下との接し方や上手なコミュニケーションの取り方、効果的なほめ方・しかり方など、即実践できるノウハウを学ぶものです。受講者からは、多様な考え方の受容と的確な指示の重要性を再認識したとの声が聞かれました。



<研修実績> (2025年9月末時点)
実施回数：16回 受講者数：265名

人的資本経営



トイレ付オフィスカーの導入について

建設業界では少子高齢化等に伴う人材不足が深刻化しており、誰もが安心して働ける職場環境の整備が急務となっています。当社ではこの課題に対応すべく、現場環境の改善策の一つとして「トイレ付きオフィスカー」を導入することといたしました。現在は試作車両を現場に配置し、実際の使用感を確認しつつ、来年度の本格導入に向けて必要な装備や機能の検討を進めています。

同車両は、工具の運搬や現場への移動手段としての役割に加え、簡易事務所やトイレ、着替え、休憩スペースとしても活用できるほか、災害時の復旧作業への対応も想定しています。今後とも、より快適で、多様な人材が安心して働けるための環境整備に努めてまいります。



ベトナムジョブフェアに参加

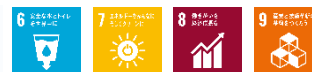
当社グループは、5月23日・24日にベトナム・ハノイで開催された「ハノイ工科大学ジョブフェア」にて企業説明を行いました。

同ジョブフェアは、香川県が推進する高度外国人人材の受け入れに向けた取り組みの一環として、ベトナムとの関係強化を目的に、県商工労働部等の主催で実施されたものです。

香川県内から8社が参加し、当日は同大学の学生約40名に向けて、四電工ベトナムのスタッフが当社グループをPRするとともに、外国人人材が日本で働くうえでのニーズや課題などについて意見交換を行いました。



DX・研究開発



JECA FAIRに出展 最新技術を紹介

5月28日からの3日間、インテックス大阪で開催された電気設備業界最大級の総合展示会「JECA FAIR 2025 ～第73回電設工業展～」に出展しました。

当社のブースは、2つのゾーンで構成され、「建築設備ゾーン」では、最新のCADソフトや見積ソフトのPRを行い、「技術開発・事業開発ゾーン」では、遠隔制御・監視機能を備えたキーボックス「スマートキーボックス」などを、実機やパネルを用いて来場者に紹介しました。



持続可能な社会の実現に向けて



当社農園のトマトをフードバンクへ寄贈

当社農園で栽培したトマトをNPO法人のフードバンクとくしま、フードバンク香川に寄贈し、県下の支援施設や子ども食堂に配布していただきました。

食育推進全国大会に出展

6月7日・8日に開催された「第20回 食育推進全国大会 in TOKUSHIMA」に出展し、トマトの試供品配布や販売を行いました。カラフルな「四電エトマト」は多くの来場者にご好評いただき、食育推進のPRに寄与しました。





今日を支え 明日を創る

四電工

お問い合わせ先

株式会社四電工 企画部

E-mail: hnikikaku@mail.yondenko.co.jp

本資料に記載されているデータや業績予想等、将来の見通しに関する記述については、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は種々の要因により異なる可能性があることをお含みおきください。